

## 第十四節 シンガー受信機

### 三共電機工業株式會社技術部

(イ) シンガー製品の種類

(一) 構造堅牢なること、(二)



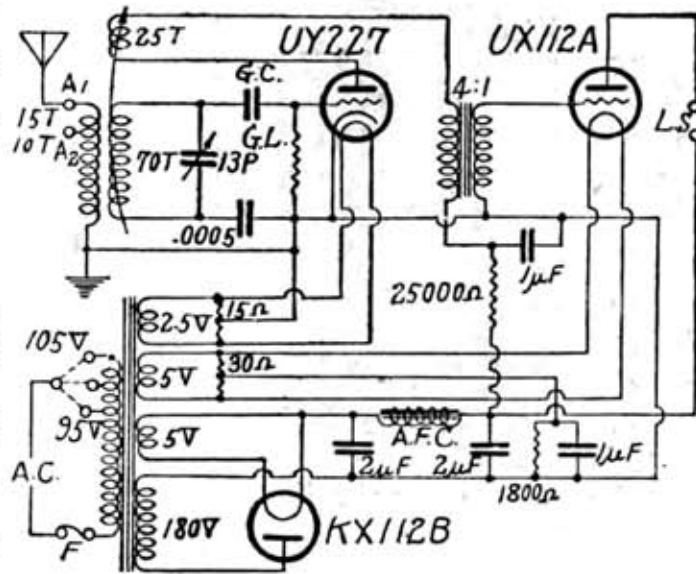
先づ當社のモットーを申し上げますれば、次の如くであります。  
 感度良好にして選擇性に富み、且つ調節容易にして働作確實なること、(三)  
 音質優良にして明瞭度大なること、(四) 價格低廉にして實用向きな

#### 第一圖

コイルはタップを出して感度及び選擇性を加減し、受信感度の優劣ある地方の融通性を持たせ、調節容易、働作確實を圖る爲めに回路は餘り複雑なものとなせず、音質及明瞭度に對しては真空管に無理をさせず至極樂に使用して居ります。尚ほ現在我社に於きまして製作致して居ります受信機の種類には、近距離、中距離用、遠距離用の三つに大別出来ませんが、此處では大衆向の第一圖に見るやうなミゼット型受信機に就いて述べませう。本機は第一圖外觀の如きキャビネットに收め、擴聲器は特に最優秀品が取付けてあります。ラヂオ・セットが家庭の裝飾品として取扱はれるやうになりましたので、この點を考慮して外觀は至極優美に出来て居ります。

(□) 本機の説明

此のミゼット三球に就いての簡單なる取扱法及び參考になる點を申し上げますれば、第一圖は回路圖でA.A.はアンテナ切替用タツプでありまして、受信状態に依りまして任意に切換へて御使用願へば結構です。低周波變壓器は一對四で、周波數特性は優秀であります。又選擇性を増す爲めに同調回路のA.A.側は、



第二圖

○○○○五MFのマイカ・コンデンサーを挿入いたして居ります。

調節に就いて申上げますならば至極簡單でありまして、先づアンテナ、A.A.を指定の位置に接ぎ、真空管は所定の印のある處にさして、第一圖右側の電源スイッチを振つて頂けば、前面のバイロツト電球が点りますから、スイッチが完全に入つたことが判ります。さうしましたら左側のツマミはチツクライ・コイルのツマミですから、このツマミを出来るだけ右方向に廻して置きました、中央の同調蓄電器のダイヤルを廻して同調させますと、必ず放送が聞えますから、さうしましたならばチツクライのツマミを靜かに左方に廻しますと、音聲は漸次大きくなります。かくして御聴きになる方に依つて適當の音量の所で止めて下されば宜しいのです。然し是を左方

向に廻し過ぎますと、再生が強くなり過ぎて音聲が亂れて仕舞ひますから、此やうな状態にならぬやうにせねばなりません。尚再生を強く行ひますと同調點がやゝずれますから、注意して同調を直すと最大の感度を得られるのであります。(此の項終)